

請願第 47号

平成30年 6月25日

川崎市議会議長 松原成文様

中原区

市ノ坪本町会

ほか 5名

川崎市中原消防団住吉分団市ノ坪班器具置場の既存施設の活用  
に関する請願

請願理由

私たちの住む中原区市ノ坪は、中原消防団住吉分団の活動管轄となっており、市ノ坪班器具置場が整備されています。この器具置場は、細長く形成される市ノ坪のおよそ中心に立地しており、有事の災害活動拠点として非常に大きな役割を担ってきました。また、日頃の火災・災害への対応や予防啓発活動の取組だけでなく、地域で子どもが行う催しなどの際にもトイレや水道といった設備の一部を利用させていただく機会もあり、コミュニティー形成の役割を担う施設として市ノ坪地域及び町会においても大変感謝している次第です。

しかしながら、昨年、木月4丁目への移転・新設の方向性が示されました。当該消防団からの要望やそれらを踏まえた市議会での質疑内容も理解の上、管轄地域の消防力向上の観点からこの移転・新設について歓迎すべきものですが、前述のような地理的な立地条件や密集市街地において限られた有益な土地であること、既存施設は、まだ使用出来る設備が整っていることを理由として、消防団器具置場から地域課題に即し、公益に供する行政ニーズに対応した施設へと活用されることが多くの地域住民の望みであります。

2018年（平成30年）2月2日に健康福祉委員会にて審査されました「請願第38号 川崎市中原消防団住吉分団市ノ坪班の器具置場の保有に関する請願」で

は、そういった様々な行政ニーズを踏まえ、まず、「今後の手続の進め方につきましては、関係部局と協議してまいりたい」旨、当時の消防局長が答弁をしております。地域課題・行政ニーズを把握し、そのような協議を行った上で、前述のような既存施設の活用が積極的に図られるよう土地の所有者である東海旅客鉄道株式会社に対して交渉を行って下さい。

#### 請 願 要 旨

関係部局と協議の上、既存施設の活用が図られるよう東海旅客鉄道株式会社に対して交渉すること

#### 紹介議員

大 庭 裕 子  
山 田 益 男